

# 学道一如

発行 小樽双葉高校  
生徒会通信  
2025年5月7日  
第7号

## 吹奏楽部 老人施設で演奏会

### 喜んでくれ、やりがい感じた

4月12日、吹奏楽部は介護老人保健施設 リラコート愛全（札幌市南区川谷）を訪問し、年配の方々が楽しめる曲を10曲ほど披露した。司会をした土谷心絆さんは「お年寄りが手拍子したり、一緒に歌ってくれ、とても喜んでくださり、演奏のしがいがあった」と語っている。



医療法人愛全会 介護老人保健施設 リラコート愛全で

## 軟石の魅力再発見「異空間」

南区石山は建材に最適とされた札幌軟石の産出地。巨大な石切場跡を公園へと再生させたのが「石山緑地」である。北ブロックは展望テラスやテニスコートなど市民の憩いの場になり、南ブロックは切り立った岩肌の造形美が印象的で、石のみで造られたスポットやユニークなアートを楽しめる。（写真は南ブロック）



札幌軟石を使用した歴史的建造物である札幌資料館を背景に。大正15年に札幌控訴院として建てられ、令和2年に国の重要文化財となる。



## 探究「札幌軟石」石山緑地を調査 科学同好会

連休中、科学同好会は松田義章先生、馬淵先生は札幌軟石の調査に出かけた。まず、札幌軟石が使用されている札幌資料館（大通13丁目）を訪れ、次に採掘場所である石山緑地（札幌市南区石山）で地質を調べ、松田先生からの講義を受けた。札幌軟石は約4万年前、支笏火山の大規模な噴火による火砕流が冷えて固まった岩石である。札幌の石山地区まで火砕流が流れ着いたと言われ、明治初期には盛んに採掘が行われていた。採掘場跡地は藻南公園として整備され、市民の憩いの場である。

藻南橋は札幌軟石の地質を一望できる絶好のスポットだ。花魁測と呼ばれる崖の名所も見ることができ。



支笏から噴火して運ばれた火山灰の堆積物が削られて現状の姿になっている。



札幌軟石がこのような残っている。

松田先生の手書き紙芝居で噴火物がどのように札幌軟石になっていったかを教わった。



白いブツブツは地衣類（コケ）の細菌が死んだ後、白化したものだ。

